

1月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表－1 参照）

1月分の販売電力量の合計は、72億7,400万kWh、対前年比101.1%となり、前年に比べ気温が低かったことによる暖房需要の増加などから、前年実績を上回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

○電灯

電灯は、前年に比べ気温が低かったことによる暖房需要の増加などから、対前年比105.7%と前年実績を上回りました。

○電力

電力は、前年に比べ気温が低かったことによる暖房需要の増加があるものの、契約電力の減少などから、対前年比98.2%と前年実績を下回りました。

（表－1：販売電力量）

（単位：百万kWh、%）

区分	当月実績 (A)	前年実績 (B)	前年比 (A/B)
電灯	2,959	2,800	105.7
電力	4,314	4,391	98.2
合計	7,274	7,191	101.1

※ 個々の数値の合計と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

2. 供給力について（表－2参照）

1月の発受電電力量の合計は、79億3,500万kWh、対前年比99.4%の実績となり、前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率104.4%の豊水となったものの、前年出水率を9.2%下回ったことなどから、発電量は前年を1,800万kWh下回る5億9,900万kWhとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を6億9,500万kWh上回る62億5,900万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の運転状況の違いなどから、発電量は前年を600万kWh上回る8,400万kWhとなりました。

（他社受電）

他社発電所の運転状況の違いなどから、他社受電合計では、前年を4億5,100万kWh下回る16億6,800万kWhとなりました。

(表-2 : 発電電力量)

(単位 : 百万kWh、%)

区 分		当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 差 (A-B)	前 年 比 (A/B)
自 力	水				
	自流式	542	565	-23	96.0
	貯・揚水式	57	52	5	111.4
	計	599	617	-18	97.3
社	火 力	6,259	5,564	695	112.5
	原 子 力	0	0	0	-
	新エネルギー 等	84	78	6	107.2
	合 計	6,942	6,259	683	110.9
他 社 受 電		1,668*	2,119	-451*	78.7*
融 通		-665*	-394	-271*	168.6*
揚水用動力		-10	-2	-8	452.5
発電電合計		7,935*	7,982	-47*	99.4*
出 水 率		104.4	113.6	-9.2	-

※新電力に対するインバランスなど未確定値を含みます。

以 上